

## お客様紹介

### タイヤ館出雲

様

〒693-0066

島根県出雲市高岡町554-1

TEL 0853-21-7001

FAX 0853-21-7002



店舗外観（写真上）と新設されたカフェテラス（下写真）、女性向きのファンシーグッズの数々

### 新しいもの続々

3月下旬にリニューアルされ、店内が明るく広くなりました。眺めのいいカフェテラスができ、待合の間、外を眺めながら、お茶がいただけます。また、キッズコーナー・授乳室も設置され、お子様連れでも退屈しません。また、女性向の雑貨コーナー“ココトリコ”も新設しました。ファンシーグッズがいっぱい揃っていますよ！！

### 車の骨盤調整

当店ではアライメント調整ができます。タイヤの摩耗状態をみて、偏った減り方をしている車は、アライメントの調整により、タイヤが正しく接地されタイヤの性能が正しく発揮されるようになり、走行が大幅に改善されます。状態によっては燃費も改善されることもあります。

以前、アライメント調整されたお客様から、「走行してみて違いがはっきりわかった。とてもスムーズに走る。アライメント調整してよかった！」と、感動の電話をいただきました。



スタッフの長瀬様、内田様、悴部（はせべ）店長、石原様、杉原様。（写真左より）

### タイヤのメンテナンスについて

車を支えているのはタイヤです。出かける前には、タイヤの空気圧のチェックをしましょう。

また、タイヤを長持ちさせるために、紫外線や雨にあたらさないよう、屋内保管がベストです。当店では、タイヤをご購入されたお客様の預かり保管もいたします。（有料です）

リニューアルされて、従業員のかたがたも気持ちが明るくなり、仕事しやすくなったそうです。リニューアルと冬タイヤから夏タイヤへの交換時期と重なり、うれしい悲鳴でした。常連のお客様や新しいお客様も増え、これからますます忙しくなりそうです。

「お客様に満足していただき、それ以上に感動をよぶサービスをしていく覚悟です。タイヤの販売員ではなく、アドバイザーとして、お客様にとって最適な商品を提案していきます。

また、車のタイヤ周りのドレスアップがお客様の間で人気です。“かっこいい車”に変身できますよ。タイヤに限らず車のことでお困りのことがあれば、まずタイヤ館出雲へご相談下さい」と悴部（はせべ）店長から、うれしいお言葉を頂きました。



笑顔が素敵な曾田様。美味しいコーヒーを入れていただけます。

スタッフの平均年齢が若く、皆元気で活気があります。全社員一丸となって、ますますお客様に愛される店舗になると確信します。

（聞き手長野）

### 会社概要

スタッフ：6名

営業時間：10:00～19:00 水曜日定休

業務内容：タイヤ販売、カー用品販売、オイル交換等のカーメンテナンス、車検・その他修理等

## 交通安全

春の全国交通安全運動の期間中、自転車マナーアップ街頭指導が行われました。

東出雲中学校近くの交差点に立ち、朝の通勤・通学時間帯に通行する自転車利用者に対し、交通安全啓発用チラシを配布し、交通安全意識の高揚をはかりました。

中学生は、国道においては自転車を降り自転車を持って歩道を歩くことになっており、整然と並んで安全に通学していました。

また、中学生・小学生とも元気よく挨拶でき、気持ちが良かったです。（長野）



朝の通学風景（松江市東出雲町にて）

## 「大失敗」

「4月末にお客さまに支払うべきお金が、期日に支払われていないことが判りました。」出先で部長から電話が入った。

大失態である。直ちに謝罪の電話を入れ、部長が飛んで行きお詫びをしました。

お客さまから連絡が入る前に判ったことが僅かな救いですが、しくみ通りに動いていなかったこと、そのチェックが行われていなかったことが原因と考えられます。では何故未払いであることが判ったのか。

未払いに気付いた女性社員に聞いてみたところ「何か変な気がした」という答えでした。「いつもと違う」ことに対する違和感があったようです。このような「勘」は、経験値から生まれるもので、現場を問わず危険を予知する素晴らしい能力であると思います。反面、勘ばかりでは危険を回避することはできません。

周りからお客さまから素晴らしいと言われる人と会社になることを目指して、改善を行います。（安原）



鳥取営業所

鳥取道が3月下旬に中国縦貫道とつながり、関西・山陽方面にとっても便利になりました。

車の通行量が増え、物流が活発になったと感じます。鳥取砂丘などの観光地は、とても賑わったようです。今後、ますます県外からのビジネス客や観光客が増加することが期待されます。

## 元氣の出る言葉

中村天風師

幸福や幸運というものは、自分がよび寄せなければ来やしない

自分の人生を価値高く活かそうと思つたならば、他力本願で生きてはダメだと説いています。幸福も健康も成功も、自分自身のなかにあるのです。積極的な心の持ち方で、幸福や幸運を自分によび寄せるのです。前向きに明るい希望を持って進めば、明るい未来が開けると信じましょう。（長野）



「こうぞの花」樹皮の繊維は和紙の原料になります。製紙原料の中で最も強く良質といわれています。

### クルマはかくして作られる 3 福野礼一郎著 別冊CG 二玄社



車関連の事業に携わりながら、自分  
は中古車に乗っているという不埒（ふ  
らち）な私です。今5年前に初度登録した車を、2  
年前から愛用しています。

替える以前の車と同じ排気量でありながら、出足  
の吹き上がりが爽快。居住性、運転のしやすさが良い。  
コンピューター制御で必要な情報が容易に得られ  
る。白色塗装なので、色あせや細かいキズを心配して  
いたが、いつまでも白色に輝いている。このような車  
に関する技術の進歩に、目を見張る思いです。

《 研磨は板金・塗装作業にはもちろん、彫金や彫  
刻、プラモデル作りから日本刀に至るまで、手加工・  
手仕上げには欠かせない作業だが、実は工業用とし  
ても高精度の加工をするために重要な技術要素であ  
る。一住友3M・研磨と研磨剤(P116) 》

ねじの設計技術からミラーの設計・生産技術、G  
T-Rのボディ製造ラインなどなど、クルマ作りの  
世界が網羅されています。車好きの方は、この本を  
手に取り、ページをめくる価値はあります。

先日の新聞に「国内新車市場に占める軽の比率は  
36.9%と過去最高を更新。軽市場をめぐる覇権争い  
は一段と激しさを増す」とありました。市場の変化  
は各社の存亡がかかっていると同時に、軽の市場に  
新しい技術を多く生み出します。

自動車市場の一角にいる私たちも、新しい技術と  
付加価値をつくりだし、この地域経済になくてはな  
らない会社になりたい。(山根)

### 編集後記

今年大型連休は日本全国お天気に恵まれ、観光  
地はどこも大盛況だったように思いますが、連休最  
後の5月6日、北海道帯広市で8年ぶりに5月に積雪を  
観測したそうです。これはオホーツク海に停滞して  
いる低気圧の影響で上空に寒気が流れ込んだため  
です。一方、5月3日には、和歌山県白浜町では、本州  
で一番早い海水浴場開きが行われました。桜は、連  
休にかけて青森や岩手の内陸部で見ごろになったよ  
うです。

日本国土は面積が小さいけれど、南北に細長く、  
こんなにも気候が違うのかと驚かされます。しか  
し、同じ時期に夏と冬の風物が見られるなんて感動  
ものです。季節の移ろいをしっかりと肌で感じたい  
と思います。(長野)

「君に成功を贈る」(中村天風)を購入希望の方は、弊社までお  
知らせ下さい。在庫数が少ないため、出版局から取り寄せてお  
届けします。本代は¥1,890です。

### 今月のクイズ

解答を下記編集部までお寄せ下さい。応募の方法  
は、ファックス、電子メール、ハガキ、営業マンに渡し  
ていただいても結構です。正解者の中から抽選で1名  
に島根ぶどうと島根ワインを差し上げます。クイズ  
の締切は5月末です。奮ってご応募下さい。

Q:先日、長嶋茂雄・松井秀喜両氏が国民栄誉賞を  
受賞しましたが、初めて受賞したのは何年の  
誰でしょうか?



先月号の答えは、「山陰海岸」でした。  
松江市 三島様が当選です。おめでとうございます。

応募用紙(答)

会社名または住所、氏名

FAX 0852-37-2472 E-mail h.nagano@e-skk.co.jp

### 蔵書新着情報

- ・ 僕たちは島で、未来を見ることにした 阿部裕志、信岡良亮 巡の環
- ・ おもかげ復元師の震災絵日記 笹原留似子 ポプラ社
- ・ おいしいおと 三宮麻由子 福音館書店
- ・ きょうのごはん 加藤休ミ 偕成社
- ・ ヤフー・トピックスの作り方 奥村倫弘 光文社
- ・ なぜこの会社に人材が集まるのか 坂本光司 商業界
- ・ 「科学にすぎるな！」宇宙と死をめぐる特別授業 佐藤文隆、舛場よしみ 岩波書店
- ・ 親子で楽しむ！わくわく数の世界の大冒険2 桜井進 日本図書センター
- ・ 月刊MOE 5月号 白泉社

発行日：毎月10日  
発行：690-0025 島根県松江市八幡町796-20  
TEL 0852-37-2470 FAX 0852-37-2472  
山陰興業(株) ECO'S通信編集部 長野  
E-mail : h.nagano@e-skk.co.jp  
印刷：授産センターよつば 印刷係

ホームページ公開中(<http://www.e-skk.co.jp>)

山陰興業蔵書本をお貸しします 本誌で紹介した蔵書本を、広く皆様にお貸し致します。  
営業マンや当編集部に遠慮無くお申し付け下さいませ。



## 小さな記事に大きな感動

エコス通信創刊240号、20年の節目にうれしいお便りをいただきました。



下記の書籍が上記のような  
コミックになりました。



今月号の蔵書新着情報欄に私の兄の会社、  
キシエンジニアリングが紹介されたマンガ本が載せ  
頂き大変恐縮いたしました。  
ありがとうございます。

兄は自分の娘が重度の障害者になったことで自分自身の  
人生の方向転換をせざるを得なかったわけですが、  
そんな中沢山の障害をもつ人々と接し、少しでもお役に  
立てるものがつくれないかと、いろいろ研究し、本業と平行  
して医療機器の開発を始める会社にしてきました。  
小さな会社ですが、生きがいを持つ仕事に頑張っている  
日々です。

この本は折々でも世の中の人々の目に触れることで  
一層の励みになるのではと感謝申し上げます。

これからもEco's通信楽しみにしております。  
毎月のお便りの写真紹介も又通信に「花」として  
いさよね、頑張ってます。

前月号で、キシエンジニアリング株式  
会社様について、蔵書新着情報にて紹介  
したところ、岸社長のご兄妹様から、大  
変うれしい反響をいただきました。キシ  
エンジニアリング株式会社様は、「ちっ  
ちやいけど、世界一誇りにしたい会社」  
で紹介された会社です。それが、さら  
にコミック版になったのです。

岸社長のご兄妹様は、エコス通信を毎

月楽しみにしていただき、隅から隅まで  
ご覧いただいています。このような小さ  
な書き込み記事に注目され、感動のお便  
りをいただいたのです。これからも、皆  
様に注目され、感動を呼ぶ誌面づくりを  
と、意気盛んな編集部です。

キシエンジニアリング株式会社につ  
いては、6月号で紹介させていただく予  
定です。(長野)



## よい縁をさらに広げる

・周りから、お客さまから素晴らしいといわれる社員と会社になる・

社長 山根久志

私たちにとって大切な二名のお方たちが、最近亡くなり、帰らぬ人となりました。故磯田幸子さま。もうひとり、故伊藤薫さま。このお二人は、私たちの現在ができるきっかけを、つくっていただいた方々です。

まず故磯田さまは、創業者故小村恒一郎氏の妹様です。創業間もなく、売り上げが思うように上がらないので、経営者としては恥ずかしながら、支払日と給料日がなぜこんなに早く来るかと嘆いていました。もちろん銀行には都度融資をお願いしました。

あるとき、大変お世話になった信金の故吉田支店長さまから「残念ながらこれ以上の追加融資は無理だ。」と、厳しい宣言。しかし少し間をおいて「だけど、磯田さんを保証人にすればOKだよ。」と、救いのご提案をいただいた。もちろん故小村氏も故磯田さまもご快諾いただいた。それから会社は倒産を免れ、健全な運営をめざし始めることができたのです。

故伊藤さまは、私たちが石油業界という経験の少

ない業務へ参入するにあたって、私たちに強く推していただきました。

出光興産の油槽所でのタンク解放工事は、福山の小さいタンクから始まりました。もちろんご本人の推薦があったからこそ実現しました。そして多くの石油元売り、東西OT、全農、中国電力など各社での実績へと広がっていくのです。

そればかりでなく、一年生経営者である私へ、経営者の姿勢、立ち居振る舞いなどとても厳しく、時には優しく教えていただきました。若いころ出光興産の創業者、出光佐三氏から、ご自身が直接薫育を受けたことを誇りにしておられ、その貴重な経験を、次世代に伝えたかったのかもしれない。

このように私たちがいただいた貴重なご縁を、これからも大切に生かしていきたい。同時に私たちへ示していただいた「利他の心」をもって、今度は周りへ、社会へ広げ、恩返しをして欲しいのです。

お二人のご冥福を心からお祈りします。

### 私はこう考え、こう実行します

【安原】お客さま、そして私たちが関わる全ての方々とのご縁を大切にし、感謝の気持ちを持って接します。

【松下】一人一人のお客さまのご縁を大切にし、利他の心を持ち続ける。

【河上】利益だけを追求する付き合いをしない。

【岸本】私は今までのご縁、これからのご縁を大切にし、さらに広げたいと思います。

【福間】これまでのご縁とこれからのご縁の一人一人を大切にしていきます。

【福島】感謝の気持ちを忘れずに。

【木村】三人体制になった縁を広げ、利益UP。

【吾郷】ご縁を大切にし、これからの人生に生かしていきます。

【山口】私はよい縁を大切にし、成長します。

【大國】初心を忘れず、基本の作業を正確に行う。

【木村憲】縁を大切にします。

【横地】日々出会う多くの人々に対し、「これも何かのご縁」と捉え、気持ちよく接するように心掛けます。

【松本】貴重なご縁を大切にし、さらにより縁を周りに広がります。

【榎並】人とのつながりや縁を大切にし、仕事に活かします。

【岡田】一つ一つの出会いを大切に生きていきます。

【植尾】一つ一つの縁を大切にします。

【恩村】感謝の心を忘れず縁を大切にしていきます。

【高橋】私は、出会いを大切にし、成長します。

【小村】今ある縁をさらに広げ、この地域に根ざした人になる。

【長谷川】ご縁を大切にしていきます。

【藤原拓】お客さまに安心して廃油をいれていただく廃油タンクをお客さまのところへ配達します。

【金森】お客さまとのご縁を大切にし、仕事に取り組みます。

【藤原】周りの行動をよく考え仕事していきます。

【安達】お客さまとの縁に感謝し仕事に取り組む。

【野々村】人々との縁を大切にし、自分自身を成長できるように努力します。

【石橋】私も故伊藤さまに「仕事は楽しく笑顔でやろう」と教わりました。この言葉を忘れずに、客先を廻ります。

【清水】貴重なご縁を大切にし、経験を広げていきます。

【中村】「利他の心」で周りへ、社会へ貢献できるよう、努めます。

【足立】私はお客さまに「利他の心」で対応します。

【長谷川真】お客さまとの出会いを大切にし気持ちを込めて対応する。

【長野】今までに培ったお客さまとの人間関係をさらに広げていく。



吊花（ツリバナ）名前の由来は花や実が垂れ下がっているところからきています。



## ますます安全に

再生燃料出荷設備に作業者の落下防止のための安全装置が設置されました。

取り付け作業は、長いレールをクレーンで吊り上げ、それを高所作業車に乗って、屋根と取合に溶接されました。ハンガーレールを取り付ける鋼材を上げるのが大変でした。

完成後、重量物で安全装置の動作確認をし、その後、実際にハーネスを試着しました。「実際の作業に不自由は無く、回数を重ねるごとに、ハーネスを装着する時間は短縮されるようです。安全装置を装着しても、気を抜かず、万全な作業を行います」（安達社員談）

外部委託の配送業者さんも、「使い勝手がよい」と好評です。

今後ますます安全な作業を目指します。



ハーネスを装着し（左写真）、実際に作業を行っている様子です（下の写真）。違和感なく自由に動き回れるようです。



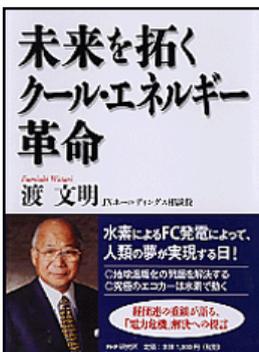
## 「未来を拓くクール・エネルギー革命」を読んで

人類はエネルギー面で木炭から石炭、石炭から石油へと二度の大きなエネルギーシフトをしてきた。現在、石油は無限な物質ではないため、石油に代わる新たなエネルギーが必要になってくる。次世代エネルギーの在り方について知ることが出来たのがこの本である。

渡氏の言葉で「第三エネルギー革命の主役となるのは水素だが、多くは燃料電池の燃料として利用することになる」とある。燃料電池の仕組みについて読み解くと、水素と酸素を反応させ、水と電気をつくることがわかった。水素を燃料とする電池を普及させることができれば、家庭や地域でクリーンかつ小規模な発電施設が完成する。すなわち大規模な発電所が必要なくなるのだ。

エネオスCMで「エネファーム（エネルギーとファームの造語）を推し進めている理由がこれでよく分かった。効率的かつ豊かなスマートライフを実現するため、私たちがライフスタイルを見直し、エネルギー革命の波を真剣に考えなければならないと感じた。

（田中）



## 発刊20年を振り返って

入社してまもなく、社長命により、社内報を作成することになりました。当時は、「安全ニュース」という名前でB4版1枚でスタートし、この20年の間に「エコス通信」と改名し、ページ数も現在のように6ページに変わってきました。

20年というとても重みがありますが、過ぎてしまえばそんなに経ったのかという思いです。しかし、この間継続できたのは、ご高覧していただいているお客様や編集に協力していただいた社長はじめ社員の皆さんの協力があつたからこそです。改めてお礼を申し上げます。

今後さらなる進化をめざすため、次のように考えます。弊誌がお客様の繁栄に役立って、そしてお客様がその地域で必要とされる会社になるということです。もちろん、我が社のことを好きになってもらい利用していただきたいという思いもあります。そのツールとして、ますますの進化をはかっていく覚悟です。

これからも皆様のご協力をよろしくお願ひします。

（長野）